

笑顔のたえない町をめざして

# おおとう 議会報告

2011

9

平成23年9月

## 定例会

平成 23 年 9 月 12 日から 16 日までの 5 日間の日程で開会されましたので、その審議内容と結果をご報告いたします。

### 記

- 9 月 12 日 議会本会議（出席者 10 名、欠席者 1 名）  
（議会の会期の決定、議案の上程、提案理由の説明、採決等）
- 13 日 地域振興常任委員会（平成 23 年度特別会計補正予算等の審査）
- 14 日 総務常任委員会（平成 23 年度一般会計補正予算等の審査）
- 15 日 休会
- 16 日 議会本会議（出席者 10 名、欠席者 1 名）  
（各常任委員会委員長報告の内容審議と採決等）



# 議 会 本 会 議

## 12 日開会(審議経過)

### 日程第 1

#### 会議録署名議員

#### の指名

今期定例会の会議録署名議員には9番議員 崎野英樹君、10番議員 宮本孝一君を指名。

### 日程第 2

#### 会期の決定

《全員異議なしで、9月12日から9月16日までの5日間とする》に決定

### 日程第 3

#### 諸般の報告

#### ●議長 報告

(議長 米丸 年一)

○受理請願は1件ありますが、議会運営委員会の意向のとおり配布することにした。

○次に系統議長会関係の報告について。

○7月7日「主要地方道八女・香春線国道昇格促進期成会通常総会」出席。

その内容は、平成22年度

事業報告及び平成22年度歳入歳出決算報告、平成23年度事業計画及び平成23年度歳入歳出予算と平成23年度要望について審議され、すべて承認されました。

○7月10日「主要地方道田川直方線延伸整備促進期成会設立総会」出席。

その内容は、国道201号と田川直方バイパスとの交差点から、国道322号バイパスと大任中央1号線との交差点までの延長4300メートル、幅員19メートル、片側2車線の道路整備計画であり、早期実現に向けての設立総会でありました。

○7月14日、15日の2日間「田川郡町村議会議長、事務局長研修視察」出席。

その内容は、山口市議会、防府市議会を視察、地方議会の運営についての研修で、山口市、防府市とも議会基本条例の制定をしており、その制定

に向けての取り組み方の説明を受けました。

○7月21日「福岡県介護保険広域連合・田川・桂川支部運営協議会」出席。

その内容は、平成22年度事業報告及び決算の認定、平成23年度事業計画、予算報告及び監査委員の改選、条例の改正等が審議され、すべて承認されました。

#### ●議会運営委員長報告

(委員長 毛利英文)

○9月定例議会に向けての議会運営委員会の報告でありました。その内容は、今定例会の会期については、議長の提案どおり9月12日から16日までの5日間とすることと決定しました。

次に、今回提出の議案は、議案第26号「大任町過疎地域自立促進計画の変更について」から議案第32号「平成23年度大任町水道事業会計補正予算について」までの7議案であり、それぞれ各常任委員会へ付託し、その内の議案第27号「平

成22年度大任町各会計歳入歳出決算書の認定について」は、初日の議会で採決することを決定しました。

次に、同意第4号「大任町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」は、初日の議会で採決することを決定しました。

次に、請願第1号「少人数学級推進、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書」の採択に関する請願については、総務常任委員会に付託することに決定しました。

以上が議会運営委員長報告でありました。

#### ●田川地区斎場組合議会報告

(斎場議会議員 毛利英文)

○去る、8月29日に開催されました平成23年度第3回田川地区斎場組合議会定例議会の報告でありました。その内容は、平成22年度田川地区斎場組合歳入歳出決算の認定について審議さ

れ承認されました。

次に、平成23年度田川地区斎場組合一般会計補正予算について審議され承認されました。

以上が田川地区斎場組合議会報告でありました

## ●監査委員報告

(議会議長 監査委員 宮本孝一)

○平成22年度の大任町各会計歳入歳出決算審査を、8月4日から8月25日まで、地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された。平成22年度大任町歳入歳出決算書、歳入歳出事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各関係書帳簿類の審査を宇佐見代表監査委員とおこない、その結果について次のとおり報告がありました。

## (1) 決算について

各会計における計数については、正確であり、予算の執行状況については、適正であると認めます。

## (2) 各会計別決算状況

## 「一般会計」

一般会計については、実質収支額5億5,802万円の黒字決算です。町税における徴収率は、現年度分、滞納繰越分を合わせ88.9%であり、前年度と比べ0.1%増加しているものの、今後も滞納者の実態を充分調査し、滞納の状況と理由を明確に把握して徴収にあたって更に努力を重ねる必要があります。

## 「住宅新築資金等貸付事業特別会計」

住宅新築資金等貸付事業特別会計については、歳入歳出差引4,369万円の黒字決算です。貸付金の回収率は、前年度より増加しているものの現年度分、滞納繰越分を合わせ1.6%であり、前年度と比べ0.9%減と非常に低く、回収にあたっては、更なる努力が必要であります。

## 「国民健康保険事業特別会計」

国民健康保険事業特別会計については、歳入歳出差引1億3,016万円の赤字決算です。徴収率は、現年度分、滞納繰越分を合わせ57.3%であり、前年度と比べ1.6%増加している。

歳入の主なものは医療費であるため、医療費の抑制を図ることが必要であります。

## 「老人保健特別会計」

老人保健特別会計については、歳入歳出差引31万円の黒字決算です。老人保健は、平成20年3月末で後期高齢者医療制度へと変わり、平成20年3月分以前の過誤分決算となっております。

## 「後期高齢者医療特別会計」

後期高齢者医療特別会計については、平成20年4月より老人保険制度が後期高齢者医療制度へと変わりました。歳入歳出差引331万円の黒字決算と

なっております。

## 「水道事業会計」

水道事業会計については、施設の老朽化により今任地域域において、節水制限を余儀なくされ、水道料金の調整及び施設の補修を行った結果、差引454万円の赤字決算です。さらに、一般給水料金については、238万円の未収金があり今後、未収金対策については、滞納者の実態を充分調査し、その滞納状況と理由を明確に把握し督促状を発送するなど催告を促すよう、より一層の努力をお願いしたい。

## 「総括意見」

平成22年度における一般会計は、5億5,802万円の黒字決算ではあるが、一般会計の歳入は地方交付税、国、県支出金等に依存している現状であって、地方交付税、国、県支出金、地方債の合計は全体の75.8%を占めている。一方、自主財源の占める割合は低

く20%に満たない。

今後の財政運営は、歳出削減、抑制に対する取り組みをより強化し、収納においては、町税、住宅新築資金等貸付金、国民健康保険税等の滞納者の実態を調査し、滞納の理由を把握して収納率アップへの方法・手段等を早急に策定する必要があると思われる。以上が、決算監査報告でありました。

## 日程第4及び

## 日程第6～日程第10

## 議案の一括上程

## (町長提出議案の説明と質疑及び各常任委員会付託)

## 質疑&回答

●質疑はありませんでした。

## (総務常任委員会に付託する議案等)

・議案第26号 大任町過疎地域自立促進計画の変更につ



いて

・議案第28号 平成23年度大  
任町一般会計補正予算につ  
いて

### （地域振興常任委員会 に付託する議案等）

・議案第29号 平成23年度大  
任町住宅新築資金等貸付  
事業特別会計補正予算につ  
いて

・議案第30号 平成23年度大  
任町国民健康保険事業特  
別会計補正予算について

・議案第31号 平成23年度大  
任町後期高齢者医療特別  
会計補正予算について

・議案第32号 平成23年度大  
任町水道事業会計補正予  
算について

### （常任委員会に付託せ ず即決した議案）

#### 日程第5

・議案第27号

平成22年度大任町各会  
計歳入歳出決算の認定につ  
いて内容は、平成22年度中  
に執行した大任町の各会計  
別の歳入歳出決算報告と、

それに対する監査委員の審  
査意見書について審査した  
ものであります。

#### 質疑&回答

（質疑・討論なし、採決の結  
果、全員異議なく可決。）

#### 日程第11

・同意第4号

大任町教育委員会委員  
の任命につき同意を求める  
ことについて、本案は平成  
23年8月30日付で大任町  
教育委員を任期満了とな  
りました藤本弘文氏の後任  
に、建部啓予氏を選任する  
ものであります。

#### 質疑&回答

（質疑・討論なし、採決の結  
果、全員異議なく可決。）

#### 日程第12

・請願第1号

少人数学級推進、義務教  
育費国庫負担制度拡充を  
求める意見書の採択に関す  
る請願について、所管の常  
任委員会に付託した。

## 地域振興常任委員会 13 日開会（審査経過）



地域振興常任委員会

●委員長

永原 高文

●副委員長

次谷 國勝

●委員

松下 太

●委員

佐々木次男

●(欠席委員)

楠木 明

## 審査内容

### ・議案第29号

平成23年度大任町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算について

平成23年度大任町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の総額に歳入歳出それぞれ4千3百69万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5千1百93万4千円とするものであります。内容は、歳入については平成22年度決算による繰越金、歳出については一般会

計から借り入れている元金に対しての返還金であります。

## 質疑&回答

### ●松下委員

滞納金額は総額でどのくらいあり、年間にどの位収入がありますか。また滞納者に対してどのような処置をおこなっているか。

### ●税務課長

現在の滞納額は6億7千27万8千618円です。平成22年度の元利収入は1千69万円で、滞納者については毎月徴収を行っています。

### ●松下委員

滞納金を全く払っていない人がいますか。

### ●税務課長

います。

### ●松下委員

そういう人にはどのような対応をしていますか。

### ●税務課長

今までどおり提訴、差し押さえ等行っています。

### ●松下委員

この問題以外に水道料、家賃等の滞納が蔓延しないよう頑張つて頂きたい。

### ●次谷委員

住宅資金なんかには督促状を出しているでしょ。

### ●税務課長

はい。

### ●次谷委員

それで、今の時点では、督促状を出しても全く払わない方がおられますか。

### ●税務課長

全く払っていないという人は、行方不明者とか亡くなっている方とか、そういう人が何件かはあります。それについても一応相続権の関係とか調査していますし、本人が現存している場合は本人です。本人が亡くなっている場合、保証人のほうにも督促を出しております。

### ●次谷委員

督促状を出すときに、相手側に対して調査をしているものか、調査をしないで出しているものなのか、税

務課の答弁だとそのようなことはしないとのことですが、生活保護世帯の方で毎月5万円の生活をしており、その中から毎月2万1千円を住宅新築資金として支払っている。その他のに、水道代、電気代等色々な支払いと、現在、病院で人工透析を受けており、生活費がまったく無くなるわけで、督促状を出すときは、相手側の生活状況を考えて出してほしい。

そうゆう状態な人、いろんな問題がある人が多く、相談にきますのでその点をよろしく願います。

(質疑終了・討論なし、採決の結果、満場一致で可決すべきと決定)

### ・議案第30号

議案第30号平成23年度大任町国民健康保険事業特別会計補正予算について  
内容は、国民健康保険事業特別会計補正予算を歳入歳出それぞれ9万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ

8億8、188万4千円とするものであります。(質疑・討論なし、採決の結果、満場一致で可決すべきと決定)

### ・議案第31号

議案第31号平成23年度大任町後期高齢者医療特別会計補正予算について

内容は、後期高齢者医療特別会計予算に歳入歳出それぞれ116万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ6、552万7千円とするものであります。

## 質疑&回答

### ●佐々木委員

平成20年4月から後期高齢者医療制度が施行されたと思います。国保の関係、それから被保険者、社保の関係の被保険者、それから、扶養者のすべてが75歳以上になると保険料を支払うということになる。

高齢者がそういう保険料を払うというのは、今ま

で以上に厳しい社会状況に置かれます。高齢者になればなるほど足腰が痛くなります。できることなら鍼灸院、マッサージを利用したい人がいると思います。

マッサージは保険がきくところや、きかないところがあり、きかないところは3千円取られます。そういう形なので、できるのであれば、高齢者支援事業があればいいのですが、ない場合は起こしていただけないのか、考えていただきたいと思いますが、

#### ●住民課第2課長

後期高齢者医療は今、委員さんが話されたように75歳以上の方が加入する医療保険です。これは、国の法律によっていろいろ決められていますので、町単独でこういう保険料を安くするとか、高くするとか、こういうサービスをするとか、そういうことはできません。新しく平成20年度に始

まった医療制度ですので、見直しが政府のほうで今後されると思います。

#### ●佐々木委員

今言ったのは、年をとると、足腰が痛くなって、鍼灸院に行く年配者に対し、3千円のうち何百円でもいいから補助をしてもらえないかという趣旨を言っているのです。

要するに、大任町の今おられる高齢者に痛みが伴わないような形の生活ができる事業はないかということをお尋ねしておるわけです。

#### ●松下委員

私も時々腰を痛めたりして行きますが、金がかかるので、保険のきくところに行きます。

#### ●佐々木委員

考えようだと思えますけれども、鍼灸院について、具体的には保険のきく鍼灸院というのは限定されてくると思います。やはり、針、その他というのは、施術という言葉があるように、独

特のものも持っておるようでございます。

今言われるように、保険治療、要するに年をとって体が痛くなったときに、電気でされる保険の治療と、要するに身障者というか、本当に昔から針一本、技一本で生活しておる人の鍼灸院というのは、多分私が行っているところはそういう保険の制度がないのです。

そういう部分について考えていただきたい。

#### ●住民課第2課長

先ほど松下委員さんが言われたように、保険診療でもあるとか、治療できるところは確かにあります。できないところもあると思いますので、そのような意見があったということは、今度、県などの会議があった場合、こういう意見を伝えて、改善されるように努めたいと思います。

#### ●佐々木委員

近隣の市町村、要するに田川市、川崎町はこれを実

施しているということを知りたくものですから、具体的に事例を挙げました。

それで、県に相談をするのも結構ですけども、多分、町村の実態をもう少し調査をしていただいて、大任町を取り巻く社会状況を知っていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(質疑終了、討論なし、採決の結果、満場一致で可決すべきと決定)

#### ・議案第32号

平成23年度大任町水道事業会計補正予算について  
内容は、水道事業会計予算に今回6万円を追加して4億2,901万2千円とするものであります。

#### 質疑&回答

#### ●松下委員

島台水源と現在、成光にある浄水場の大まかな事業を簡単に説明してもらえますか。

#### ●水道課長

浄水場につきましては、

老朽化が進んでいます。島台水源につきましては当然水が今足りないという状況で、水源開発ということを考えています。

とくに、浄水場につきましては、建てて40年近くたっております。それで、この前の6月にコンクリート造りの貯水槽が壊れまして応急措置を講じていますが、今回コンクリートづくりの貯水槽をステンレスのタンクに変える。ろ過池のコンクリートもかなり痛んでいますので、その改修や、管理棟にトイレ等が今ついでにしませんので改修しようと考えています。

あと、今任加圧のパーツと配管等が厳しい状況なので、とりあえず3年計画で悪いところを改修しようというふうなことで考えております。

#### ●松下委員

今、福島で問題になっていますが、こちらにも佐賀の玄海原発がありますが、事故が起ったときは影響



があると思います。また中国からの黄砂に何が入っているかもわかりません。薬品を入れて殺菌はしていると思いますけど貯水池に屋根をつけていただきたいと思っています。

#### ●水道課長

今年着工する島台のろ過池は、田んぼの中にありますので、農薬等なんかが入ってこないように全部壁で囲むように考えています。

浄水場のほうにつきましては来年度の予定で考えています。そういった問題もありますので、よく検討したうえで計画を立てたいと思います。

#### ●松下委員

屋根をつけると、砂削りや掃除の回数が減るのではないかと思う。

#### ●水道課長

砂削りについては、例えば川の水、今、成光の浄水場は川の水を添田町の中鶴のほうから入れているのですが、この川の水が、雨が

降ったときには濁ります。

その水がそのまま入ってきますので、そのときに一緒にどべみたいのが入ってきます。その状況によって砂削りというのは回数が決まるような形になりますので、それには関係ないと思います。

#### ●松下委員

わかりました。質問を終わります。

#### ●次谷委員

島台の水源池は何年かかっているのですか。

#### ●水道課長

今から設計とかがありますので、約10カ月とか、そういう感じにはなると思いますが、できるだけ早目に工事に着工して完成ということを考えています。

#### ●次谷委員

島台水源池周囲の田んぼはすでに買収しているのではないですか。

#### ●水道課長

いや、まだ買収はしていません。

#### ●次谷委員

していないわけではない。

#### ●町長

説明の仕方が悪いので私から説明します。2反分はすでに前杉原町長時代に買って井戸を掘ってあります。今度の事業は、それからもう4反近く買わないと設備はできません。それで、その用地費が1,950万円というのは、すでに買った分の周りを買わないと施設ができないということです。

(質疑終了、討論なし、採決の結果、満場一致で可決すべきと決定)

以上で付託された議案審議は終了しました。

#### 「所管事務、諸般の報告」

※住民課第2課長より、9月18日に敬老会があります。

#### 質疑&回答

#### ※後期高齢者・

#### 介護保険について

#### ●町長

さっきの佐々木委員の後期高齢者の取得の関係で、鍼灸院の質問の内容が、保険適用のところ、適用じゃないところがあるみたいなので実態調査をしてくださいということ、他町村では保険料の個人負担分を補助しているところもある中で、大任町の財政事情は厳しいけど、そういうサービスはしないのかという質問ですが、具体的に言っと。

その質問を、課長が県にそういうことを言いますと言っていました。町単独で、そういう保険の個人負担の分を援助できるような体制はできないのかということですね。

#### ●佐々木委員

そういうことです。

#### ●町長

そのことについては、今から実態調査をやって、大任町に、はり・きゅうがどのくらいあるのか、保険適用が出来るか出来ないかも調べて、どのくらいの人た

ちが、かかっているのかということをお願いしたいと思います。

ただ、これは介護保険との関連があるのではないかなと思います。

#### ●住民課第2課長

あると思います。

#### ●町長

介護保険の関係で、大任町は福岡県一介護保険料が高いのです。福岡県一ということは日本一なのです。介護を受けている人が多いということだから、いろんな原因があると思います。

高齢者の方々が元氣に体を動かすようなこともしないとか、高齢化率の問題とか、いろんな問題があって、サービスを目いっぱい使っている状況であるとか、いろんな原因があるのです。

このごろ、広域連合介護保険の福岡県本部の私も役員をしていますので、そのときに、役員会でそういう介護保険料の問題がまし

たが、現実として、日本一大任町が保険料が高い。これをどういふふうに改善していくかというのは、介護予防とか、いろんなことを

しなくてはいいけません。今、温泉のほうで介護予防事業の一環としてレセプトで病院に多重受診といって週に3回も4回も行っているような人をピックアップをして、この人たちが道の駅の温泉のおふろに入れて、東京医大の博士の先生たちが診察をして、1年間様子を見てもらっています。無料でふろに入れ、介護予防という形でやっているの、これはかなり効果も出ています。そういうことをしながら医療費の削減に努めています。

佐々木委員が言われるように、個人負担を無料にしますとか、援助してあげますよといったら、余り痛くない人でも行く可能性もあります。今、日本で一番高いという状況の中で、後期高齢者の方々にそういう

援助をするということはやぶさかではありません。

しかし、それがいい方にとってもらえればよいのですが、必要以上に利用されるという形になると、またこれも問題が出てくるということになる、介護保険料もまたあがってくるので、そのへんをもう少し担当課と実態調査をして、この次の議会までには佐々木委員さんのほうにきちんと説明ができるようにやっておきますので、そういうことで了解してください。

### ※花火大会及び24時間テレビのチャリティーについて

#### ●松下委員

先日、花火大会があったのですが、大変好評で、町民からも聞かれるのですが、何発上げて幾らかかるのですか。

#### ●住民課第1課長

980万発で、花火代が180万円くらいです。

#### ●町長

ことし、24時間テレビと連携して夏祭りをやりました。それで、来年からは24時間テレビのチャリティーは当然毎年続けていこうと思うので、盆踊り、花火大会と同じ日に、一緒にやろうという機運が反省会や、いろんな会議の中で、出ています。そのときには議会の皆さんにも協力をしていただきたいと思っています。

### ※教育費について

#### ●松下委員

教育費の中で、今任小学校の工事をするみたいですが、何をするのか。

#### ●町長

それは、今任小学校の軒のコンクリートがはげ落ちてきていますのでその改修工事をやるということなんです。校舎が2階建てなので足場等を全部かけて行なう。そういう工事の関係です。財源については補助金と過疎債を使ってやるような計画をしております。

画をしております。

### ※コミュニティバスについて

#### ●松下委員

毛利委員が総務常任委員会のほうでも話をしましたが、コミュニティバスを添田の方面に回してほしいという要望がありました。が、どのようにになりましたか。

#### ●住民課第1課長

添田方面に行く交通機関がないので、病院行きのため添田方面まで行って下さいと、要望が出ております。現在どの位の町民が希望しているのかデーターを取っております。それに基づいて、社会福祉協議会の会議で協議し、運行状況の見直しをしていきます。町長の方もそういうように考えております。できましたらそれまで待っていただきたいというように思っています。

#### ●松下委員

病院に行く高齢者の方がタクシーを使わないで行けるように行ってもらえないかという話で、一日中運行をしないで朝と昼過ぎとか病院の行き帰りの時間を見計らって福祉バスを運行してもらえないかとの意見であり、それは早くできませんか。

●町長  
今、松下委員が言っていますが、前回、毛利委員からも話がありました、一応4月1日から施行して、いろんな要望があるので、今、運行計画を立て運転手を、4人雇ってやっていますから、見直しはいろんな意見が出ればやりましようということですが、最低限1年間は今のままで行って、町民からの要望があれば、それに対応できるか。それを福祉バスですることはまた人件費もかかる話なので、す。

それともう一点は、添田町の今通っている所の行政区の区長なり議員さんか



ら、何で通っているのかとか、添田町の町道を通るので、そういう対応も担当課のほうでやって、とにかく大任町のコミュニティバスを通らせてくださいということ、運転については安全運転をやりますからとかいう話をして了解をもらいました。

そういう状況ですから、巡回バスを個人的に使うとかいう意味じゃなくて、例えば病院に行く時間帯で、それが病院の前まで連れていけとか言っても、それはできる話ではないのです。そこは、添田の前の発着所までいいですよとかいう形にして、時間帯は1日に2回か3回でいいから、ただ病院に行く人の時間と帰る時間だけ絶対来てくれとかいうことは全体的な流れがあるので、そこそころはある程度了解して下さい。

要望があるのかなと、1人の人がただ行けということだけで全体を狂わすのではなくて、ある程度の人たちのそういう声があるのかということを実態調査をするという意味だと思いますので、そこそころを踏まえて、全体計画の中で、バス停に時間割をつくって行っているのを、これを運行時間を変えらるとなると、すべてを変えていかなければなりません。1年ぐらいは今の様な状態で行って、いろんな問題を集約し、社会福祉協議会のほうで、今後どういうふうにするかという会議を行うようにしておりますので、今すぐ変えるとか言われてもなかなか簡単にはいかないのが実情であります。

#### ● 松下委員

この間、総務課長も一緒に交えて話をしたときに、大きいコミュニティバスは時間がいっぱいいっぱい、前からある福祉バスを朝と夕方だけ運行しらい

のではないかなという話をした。

実際困っている人がいるので、1年間も待たせないで運行してもいいような気がします。

#### ● 町長

福祉バスですか。

#### ● 住民課第1課長

道の駅に行く町内全体型のがあるでしょ。あのバスのことを言っています。

#### ● 町長

それは、今言う小林とか添田のほうまで行っているバスです。

行く場所は病院の前までとかじゃないでしょ。

#### ● 松下委員

それは違います。駅でもいいし、もちろんバス停でもいいし、あの辺をぐるっと回ってUターンして帰ればいいと思います。

#### ● 町長

ローテーションを変えるとしたら運行時間を変更しなければいけません。

#### ● 松下委員

だから、コミュニティバ

#### ● 松下委員

4月と言ったらまだ半年あります。

#### ● 町長

そこは、ただ通せということから通したのではなく全体をみながら、全体計画をたててやらなくてはなりません。

#### ● 松下委員

別に時間帯が変わっても問題はなと思います。

#### ● 町長

今の時間帯で決まっている人はなんで変わったのかと聞いてきます。

#### ● 松下委員

半年後に変えても一年後にかえても、それは言わないといけないのではないですか。

#### ● 町長

だから利用者に周知させる必要があります。いつごろこうなっていくしょうよとかは段取りが行政としてはあります。

#### ● 松下委員

わかりました。  
早急にお願いします。

## ※子育て支援、光ファイバー決算監査、防災マップについて

●佐々木委員

子育て支援について、支援事業はたくさんされていると思いますけども、育児や若い子供の相談に対して手を差し伸べるような子育て支援という体制が大任町にあるのかなのか。要するにそういう相談する場所があるかお尋ねしたい。またあれば別ですけども、ない場合には考えていただきたいという質問です。それから、6月議会で調査のお願いをしていた光ファイバー利用の近隣の市町村の調査をお願いしております。それで、できればこの議会で調査した報告書です。調査は済んだと思いますので、その調査した資料を出していただきたい。次に、平成22年度の監査が済んで、監査の意見として、「依存財源と地方債が全体が75%を占めている

る。」その下に「自主財源で占める比率が全体の20%に満たないものであり、類似団体の半分である」と、要するに大任町と同じような財政のところでは半分だと。

この意見について、課長さんたちが要するに執行していく段階で、どのように考えて、厳しい状況とか、こういう状況を踏まえたときに、今までどおりでいいとか、もう少し改善しないといけないという意見があれば、課長さんたちに聞かせてもらいたい。

それから、防災マップをいただきました。これが平成19年3月の日付を打っております。新聞紙上、それから、今さっき松下委員も言われたように原発の問題、それから集中豪雨、これが来て、防災マップに大体どの辺が水にどのくらいつかりますよという地図があります。

この前、奈良県ですが、和歌山県ですか、2、

000ミリを超え大きな災害が出ております。

今、どの程度の規模を想定してこの防災マップに載せられているかといったときに、非常に不安な部分があります。それで、逃げ場所も大体書いておられますが。

今こそこの防災マップを再検討して町民に配布していただいて、大任町にそういう防災の意識を高めてもらいたい。そのときに、原発の問題もあります。玄海原子力発電所のもし万が一の事故を想定したときに、どのような対応をするか検討をしていただきたい。そして、そういう意味で、今、この防災に対する意識が高いときにできればつくっていただきたい。

●総務課長

佐々木委員の光ファイバーの件、調べましたところ、添田町、香春町は、幹線は引いております。聞くところによりますと、どちらも支所なんかがございます

す。そういうところに引いているということの報告を受けております。

糸田町は、今回やはり幹線で予算計上をしていると、それで決定になるかどうかはまだわからないというふうなお話をいただいております。

各世帯にこれを引いた場合に、どのくらいの費用がかかるのかということをお話しましたところ、1億円ははるかに超えるので費用対効果は見込めないのではないかとというふうな報告を受けております。

それから防災マップの件につきましては、先ほど佐々木委員さんが言われたように、こういう今、防災意識の高いときに課内でいろいろ打ち合わせをしまして、新たなものを作成したいと、こういうふうに考えておりますので、近々のうちにその作業に入りたいと思います。

●住民課第1課長

子育て支援については衛

生のほうの関係で、保健師がおります。それで、乳児健診とかいうのが月々ありますけども、そのときに一応悩みごととかを、聞くような体制はとっております。それと、あと個別に窓口にて保健婦に相談している方もおられます。

それともう一件、これは県の事業になるのでですけども、ことし補助金請求を一応しております。町内に保健師が出向いて相談事業をやるということを今計画しております。あと予防接種等がございますけども、こういったものについても、年齢とか条件がありますが条件があてはまれば、無料ということで、町助成ですべて今のところは、ことしの23年度までやっております。

それで、これは補助金があるからできるのでですけど、来年は、例えば、どうなるかということは今のところまだわかりません。新型インフルもありましたけ

ども、22年度は新型インフルエンザの補助金が県からすべて来ておりました。23年度につきましては、新型はなくなったということで、23年度については新型インフルについての県補助金は全くないということ聞いております。

# 佐々木委員

今、町内に出向する計画を立てているということなので、そのときに、母親であつたら突発な熱とか病氣、人に話せない心配とかいっぱいあると思うのです。

お母さんと話していろんな話を聞いて調査をして、それをまとめて、それを町の中で審議していただいて、執行部でいい案をつくってもらって、安心・安全な子育てができる町にしたいだきたいと思えます。よろしく願います。

# 町長

もう一回、財政課長に監査意見の文言を説明させます

# 企画財政課長

先ほどの佐々木委員さんの質問にお答えをさせていただきます。

先ほど言われましたように、自主財源が占める比率は全体の20%程度ということで、非常に厳しい運営をしているということでございます。標準財政規模というのがあります。大任町は人口6,000弱の町にしては、このくらいぐらゐが通常の業務をやっていく上で妥当といえますが、このくらいが通常の運営をするのに必要な財源というのがあります。

これは、大任町におきましては、21億円という数字が出ております。約です。細かい数字はあると思いますが、どういふことかと言いますと、税の標準的な収入とか臨時財政対策債とか、あるいはまた、普通交付税を含めたところが21億円という数字になっているわけです。

大任町にしては、今、普

通建設事業というのをやっています、いわゆる住宅の建替え事業とか、あるいは過疎債を財源としての公園整備とか道路の整備というものをやっているのは、委員さん方は十分御承知のことと思います。

そういったことで、いわゆる通常の業務以外にやる投資的事業をやっているのです、そういった面からすると、当然財政規模がふえているわけです。例えば、ことしの9月の補正では50億程度になっていますけれども、いわゆる通常の業務以外にやることをやっているものだから、その分予算規模はふえているわけです。

監査委員さんの意見として、これは国・県の支出金が18・7%、20%とか、地方債が30%とか、全体の75%を占めていますよという監査の意見が出たのではなからうかと思えます。

したがって、私がこの文言についてどういふ言

える立場でもありませんけど、予算を執行しているという関係上、監査委員さんの意見として、こういう意見が出たのではなからうかというふうに解釈しております。

それと、もう一点ですが、ども、22年度決算における財政の指標、その件についてのお尋ねと思います。これは、決算書の17ページを開いていただきますと、そこに、まさに佐々木委員さんが言われるような数値が出てくるわけです。総括表、健全化判断比率の状況というものです。

まず、実質公債比率というのが出ています。10・6%というふうに出ています。これはわかりやすく言いますと、サラリーマン家庭で給料をもらって生活しています。これが一般会計また、大任なんかは特に副業として農家をやっていて、農機具を購入したりします。

農機具を購入すると、それは副業のお米を生産した

り、野菜を生産した収入でもってその償還に充てるのが本当なのですけども、それ以上収入が上がらないと、そういった場合は給料から補てんすると、合算したそういった指標、それが実質公債比率と書いていただいた方がいいです。いわゆるその家庭で必要とするお金が給与に対してどのくらいの比率になっているかという比率でございます。それが、うちは10・6という数字が上がっているわけです。

したがって、その財政健全化の指標としては25%、これになったら少し要注意ですと、ちなみに35%だったら、これはもっと危険な状態ということ、財政を根本的に見直さなければなりませんよという指標がここに出ているわけです。

それともう一点、将来負担比率というのが出ています。これは、将来にわたって、大任町の債務を、将来



負担する金が標準財政規模に対してどのくらい、何倍の比率がありますかというところで、うちのほうは先ほども言いましたように21億という標準財政規模でございます。それに対して350%を超えたら、これは危ないですよというもので、今の時点ではうちの50・5%ですという数値が出ております。

したがって、監査意見の総括といたしまして、基準以下となつて健全段階であるという意見が付されたと思います。

ただし、この中には、いわゆる住宅の建替え事業なんかを先ほども言いましたように、これについては、住宅の家賃の収入をもってこの償還に充てるというふうになっていきますので、これを滞納がないようにやっていくというのが前提でございます。

また、過疎対策事業債につきましても、元利償還金の7割が交付税措置をされ

るということでございますけれども、将来にわたって国の財源が非常に苦しくなることが予想される中で、どこまで補てんしていただけるかというのまた不透明な部分もございますので、ある程度は標準財政規模に沿った中で計画していくのが妥当ではなからうかという意味を込めまして、監査意見からの総括意見だと思えます。

#### ●佐々木委員

ありがとうございます。確かに今、実質公債比率の問題がよく具体的な例でございました。将来負担比率もなかなか理解できなかったけど、今、大任町との標準の値との比率ということで理解することができました。

こういう状況の中で、本当に申しわけなかったと思います。説明じゃなくして、こういう財政規模のときに、今の状況で大任町を發展させようと思ったときに、それぞれの課長さん

たちがどういう思いなのかというのが私としては欲しかったのです。

今のまあいって基金がふえていけば、将来的には裕福になるわけなのです。もらった金、起債というのはすべてひも付きたということも一番最初に教えていただきましたけども、基金をふやす方法、要するに、一番いいのは、まだ未納金というか、徴収しづらい部分の金、どこかで出ていた住宅新築資金、そういう金が全部入れば、この状況はどうなのかな。

そういう大任町全体を考えた意見を、それぞれの課長さんがどういう考えを持っているかというのが私としては聞きたかったわけです。

#### ●企画財政課長

また、佐々木委員さんがそういう起債等の、いわゆる借金の残高とか貯金の残高等に触れられましたので、ちなみに、地方債の22年度末の現在高が同じ

く16ページにそのうち公営住宅建設事業債というのが19億何がしか残っております。それと、過疎対策事業債52億という数字が出ております。それと、臨時財政補てん債、これが10億という数字が上がっております。

22年度末現在で98億という中で、この3つ合わせますと85%になるわけです。そのうちの公営住宅建設事業債というのは、私が先ほど説明しましたように、住宅の使用料をもって償還していけば何ら町の財政には影響はない。ただし、先ほども言いましたように、滞納が出るようになれば、いささか心配が出てくるというところでございます。

それと、過疎対策事業債、これが52・3%あるのですけれども、これにつきましても、議員さん方も十分御存じのことと思います。52億のうち7割は交付税措置され、3割負担だから実質には15、6程度の町の負担と

なります。

それと、臨時財政対策債、これは10億ありますけれども、これは100%交付税で措置されるものでございますので、これは通常の起債のいわゆる債務に当たらないと思ってもらっても結構じゃないかと思えます。

それと、また、ずっと進みまして79ページに基金の状況というのが、財産の調書というのがあります。その中に、財政調整基金とか各基金の残高が決算で上がっておりますが、これも参考までに見られたらいいんじゃないかと思えます。

以上、簡単ですが、説明を終わらせていただきます。

#### ●次谷委員

財政調整基金、3億、これが非常に突出して出ています。

#### ●企画財政課長

この財政調整基金の表で十分おわかりになるかと

思いますが、ちなみに、22年度で黒字が出たということ、決算のほうでも来年度の説明がありましたように、3億を新たに財政調整基金として積み立てたということでございます。

#### ● 税務課主幹

それは実質収支に関する調書の下に、実質収支額のうち地方自治法第233条の2の規定による基金積立金ということで3億、こちらの財政調整基金で3億補正したということです。

#### ● 総務課長

佐々木委員さん、道の駅の関連の雇用の件について説明させます。

#### ● 総務課係長

雇用状況を報告します。道の駅ができたことによつて生まれた雇用は、現在約120名となっています。

#### ● 佐々木委員

これはどこか報告しているのですか。だれか報告とか、町の人にこういう話はしておるのですか。要するに、やっぱり大任町を活

性化するためには雇用なくして発展はないと思うのです。

だから、この大任町で道の駅をつくったことで雇用が120名ふえたということとを、大任町民に知らせるべきではないでしょうか。それをしたのかどうか。

要するに、働く場所はたくさんあるよということになれば、家もよくなった、大任町の過疎対策はだんだん改善されていって、大任町そのよくなる方向に行つてそういう意味では、ぜひこういうことですよというのを町民に知らせてもらいたいです。よろしくお願いします。

以上で審議が終わり、地域振興常任委員会を閉会しました。

## 総務常任委員会 14 日開会(審査経過)



●委員長

崎野 英樹

●副委員長

毛利 英文

●委員

田中 良幸

●委員

丹村 咲男

●委員

宮本 孝一

## 審査内容

・議案第26号 大任町過疎地域自立促進計画の変更について

内容は、昨年9月議会でご承認を頂いておりました過疎地域自立促進計画の変更をするもので、その内容は産業振興の表中、観光又はレクリエーションに観光施設整備事業を追加し

よつとするものです。

## 質疑&回答

●宮本議員

地域の光というみたいな説明がありました。観光施設整備事業で具体的な例えはありますか。

●企画財政課長

観光、その地域の光を観るという、まさに観光です。地域独自の個性を持ったという意味で、私は地域の光という説明をさせていただきました。いわゆる従来型の単なる生産ではなく、これに観光を組み入れた中での複合的な施設であります。どういふことを計画しているかということですが、6月の臨時議会に過疎計画の変更をあげました。その中で、ハウス栽培、あるいはしじみ養殖場ということが新たに追加しましたけれども、そういう施設に對しまして、そこに観光を取り入れた複合型の施設整備を計画していこうということでありあります。

●宮本議員

わかりました。では、その観光の光というのは、地域というのは大任町全体を指して地域というような捉え方でいいですか。

●企画財政課長

はい。

●宮本議員

わかりました。

●総務課長

もう少し詳しく私の方から説明させていただきます。これは、そもそも大任町の野菜生産とかフルーツの生産が少ないということ、これを促進しようということで大任町で生産施設をつくらうということ、これを進めてきたわけですが、その中で、新産業創造等基金というのがございます。これは、産炭地振興の関係の基金なのですが、これは6億強ぐらいまだお金が残っています。これが今年度で終わりますのでこの基金を利用しようという話になりました。町長が、振興センターなどに予算をつ

けていただけないかというなかで、観光事業、要するに観光を主とした生産施設でないためですよという話がありました。このことから観光に合わせた生産施設にしようということ、南国フルーツを生産したり、それをお客さんに見せたり、採らせたりする観光フルーツ施設と野菜生産施設、それからシジミの養殖研究所を今年度やろうということ、前回議決をいただきました。詳しい内容は、この基金を利用する場合は観光という大きなことでとらえてこの事業を進める必要があることから今回、観光ということで上げさせていただきます。

●田中議員

上限が2億円ですか。

●総務課長

はい。1事業2億円ということ、今、担当プロジェクトチームは県と産炭地振興センターの方といういろいろ協議を進めています。

●田中委員

町は新産業創造等基金まだ使っていないよね。

●総務課長

新産業創造等基金は使っていないです。だから、今回、ぜひともいただきたいという事を町長が何度も交渉をされて、そして、今は事務方がそれにあわせて、資料をそろえて申請しているような状態です。

●田中委員

申請中ですか。

●総務課長

はい。今月中には申請を出してまいります。

●田中委員

決まるでしょう。

●総務課長

恐らく決まると思います。



す。

●田中委員

わかりました。

●丹村委員

観光資源を生産して補助金がつくわけでしょう。資源をどういうものを生産しなさいとはないわけですか。

●総務課長

ありません。

●丹村委員

観光に、見せるものをつくればいいということですか。

●総務課長

要するに観光施設じゃないと駄目だということなのです。

●丹村委員

生産体制が恐らく物すごく難しいと思うのです。早期に生産者の育成をしなければいけないと思うのです。その方面は町内の生産者に呼びかけていますか。

●総務課長

していません。というのが、今日職員を宮崎に

派遣しています。宮崎に

観光フルーツ農園の施設があるので、そこを宮崎県庁と一緒に今日、うちのプロジェクトチームの松本と、内田が視察に行っています。実際つくっているところを視察しています。

そこでいろいろ話を聞いて帰りなさいということとで今指示していますので、その中で、私の考えとしては、宮崎の農業大学に行った方の中から、果樹を特にされていた方あたりを指導員として入れて生産させようというような考えを持っています。

●丹村委員

早期に生産者の指導員というのを早く育成しないと、生産というのは、次年度作付したつてすぐならないわけです。何年かかるわけです。だから、それは早く育成していつて、それが事業に成り立つようにしてほしい

です。

●総務課長

今進めています。丹村委員が言われるように収穫までに3年ぐらいかかるらしいのです。だから、一応2年物のパッションフルーツとか、ドラゴンフルーツあたりを入れようということ、生産元、要するに苗を持っているところとか、それから、その試験場の、いろいろな情報を交換している状況であります。

現地をとにかく先に見て、指導員は早急に確保するように進めていきたいと思えます。

(質疑終了討論なし、採決の結果、満場一致で可決すべきと決定)

・議案第28号

平成23年度大任町一般会計補正予算について

内容は、一般会計予算に歳入歳出それぞれ3億2,525万円を追加し、歳入歳出予算の総額を50億7,054万円とす

るものであります。

(質疑・討論なし、採決の結果、満場一致で可決すべきと決定)

・請願第1号

少人数学級推進、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の採択について

内容は、この請願は6月の委員会におきまして佐々木委員より趣旨説明は受けておりますので、今回省略いたします。

(質疑・討論なし、採決の結果、満場一致で可決すべきと決定)

以上で付託された議案審議は終了しました。

「所管事務、諸般の報告」

教育課より、9月25日に大任中学校で文化祭。10月2日に両小学校の体育会があります。

住民課より、9月18日敬老会があります。

以上で、総務常任委員会を閉会し、会議を閉じます。

# 議会本会議

## 16日開会(審議経過)

日程第4及び

日程第6～日程10

議案の一括上程

(各常任委員長報告、委員長報告に対する質疑・討論・採決)

(豆知識) ↓議会初日(9月12日)に、議長が、提出された議案等について詳細に審査させるため、各常任委員会に付託し、各常任委員会で審査した結果を委員長が議会に報告した後、委員長報告に対する質疑と、議案に対する賛成、反対の討論及び採決を行います。

○総務常任委員長報告

(委員長 崎野英樹)

9月12日の議会本会議で付託された議案第26号、議案第28号及び請願1号の3議案について9月14

日午前10時から、総務常任委員会を開催し、慎重審議した結果、委員会は原案のとおり3議案を満場一致で可決したとの報告でありました。

○地域振興常任委員長報告

(委員長 永原高文)

9月12日の議会本会議で付託された議案第29号から議案第32号の4議案について9月13日午前10時から、地域振興常任委員会を開催し、慎重審議した結果、委員会は原案のとおり4議案を満場一致で可決したとの報告でありました。

質疑・討論・採決

・議案第26号

大任町過疎地域自立促進計画の変更について

・議案第27号

平成22年度大任町各会

計歳入歳出決算の認定について

・議案第28号

平成23年度大任町一般会計補正予算について

・議案第29号

平成23年度大任町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算について

・議案第30号

平成23年度大任町国民健康保険事業特別会計補正予算について

・議案第31号

平成23年度大任町後期高齢者医療特別会計補正予算について

・議案第32号

平成23年度大任町水道事業会計補正予算について

・請願第1号

少人数学級推進、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の採択に関する請願について

(以上議案8件については質疑・討論なし、採決の結果満場一致で可決)

日程第8

・発議第1号 公共施設及び民間企業誘致調査特別委員会設置に関する決議について

内容は、提出者並びに議員全員が賛成ですので、趣旨説明を省略します。

(質疑・討論なし、採決の結果、満場一致で可決)

・公共施設及び民間企業誘致調査特別委員会の委員の選任について

内容は、3番永原高文君、4番松下太君、7番次谷國勝君、8番毛利英文君、9番崎野英樹君を指名した。推薦により委員長に松下太議員、副委員長に次谷國勝議員が決定した。

以上が本会議の内容であつた。

議会からのお知らせ

議会では皆様方の生活に直結する予算等が審議されております。多くの方々に議会審議を傍聴して頂ければと思います。

なお、次回の定例会は平成23年12月の予定です。

大任町議会議長

米丸 年一

《議会だより編集委員会》

委員長	松下太
委員	崎野英樹
委員	毛利英文
委員	永原高文
委員	次谷國勝

